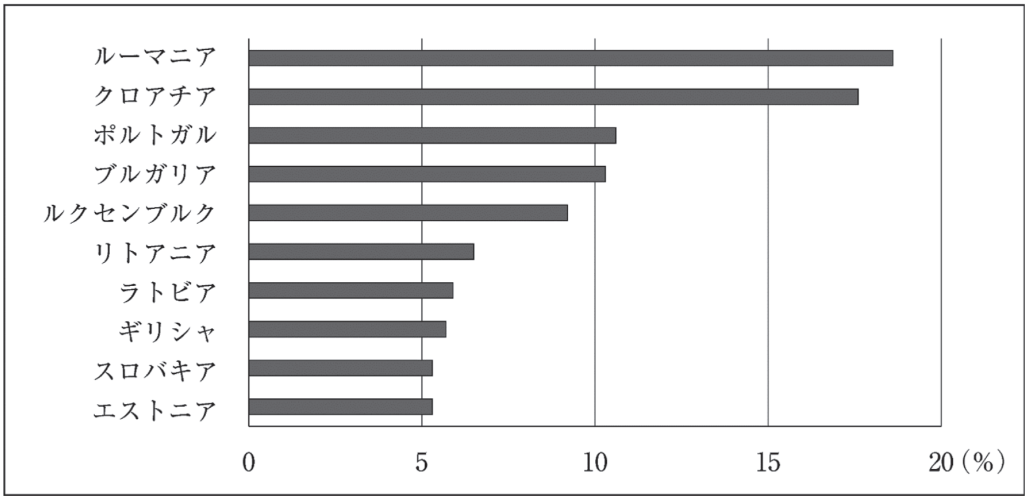
第６講　2025年度 試作問題 第6問

第６問　次の文章を読み，後の問い（**問１～６**）に答えよ。（配点　20）

生徒X，生徒Y，生徒Zは，「政治・経済」の授業において，「ヨーロッパにおける人の移動と，それが日本に問いかけていること」をテーマにして，先生Tの助言の下，研究発表と討論を行うことになった。

まず先生Tが，ヨーロッパにおける人の移動に関連して，欧州連合（EU）加盟国の人口に関わる資料を配布した。次の**資料１**は，EU加盟国の市民権をもつがEU域内の他国に移り住んでいる20～64歳の人口の，市民権をもつ国の居住人口に対する比率（2020年時点）の上位10か国を示し，**資料２**は，2014年と2020年とを比較したときのEU加盟国の居住人口増加率の上位５か国・下位５か国を示している。

資料１



資料２

上位５か国	マルタ	ルクセンブルク	アイルランド	スウェーデン	キプロス
	15.7%	11.8%	6.6%	6.3%	4.4%
下位５か国	リトアニア	ラトビア	クロアチア	ブルガリア	ルーマニア
	-4.9%	-4.9%	-4.7%	-4.2%	-3.4%

（出所）　**資料１**，**資料２**ともに，EU統計局（Eurostat）Webページにより作成。

問１　生徒Xと生徒Yは，**資料１**と**資料２**の内容と自分たちが学習してきたこととを合わせて話し合っている。次の**会話文**中の空欄 ア には，後の語句aかb，空欄 イ には後の年cかd，空欄 ウ には後の語句eかfのいずれかが当てはまる。当てはまるものの組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 27

X：**資料１**では，東ヨーロッパに加えてポルトガルなど南ヨーロッパでも，出身国以外のEU加盟国に移り住んでいる人口の比率が高い国があるね。

Y：南ヨーロッパといえば，リーマン・ショックの後，2009年からの ア の影響が大きかった地域だよね。

X：**資料２**をみると， イ 以降に新たにEUに加盟した東ヨーロッパ諸国での人口の減少が目立っているね。これはなぜだろうか？

Y：東ヨーロッパ諸国では，1989年に相次いで民主化した後，1990年代に ウ へ移行する過程で深刻な不況に見舞われたんだよね。

X：人口の減少と出稼ぎ労働とが関連しているような気がするな。

ア に当てはまる語句

a　金融ビッグバン　　b　ユーロ危機

イ に当てはまる年

c　2004年　　d　2013年

ウ に当てはまる語句

e　計画経済　　f　市場経済

①	ア―a	イ―c	ウ―e
②	ア―b	イ―c	ウ―e
③	ア―a	イ―d	ウ―e
④	ア―b	イ―d	ウ―e
⑤	ア―a	イ―c	ウ―f
⑥	ア―b	イ―c	ウ―f
⑦	ア―a	イ―d	ウ―f
⑧	ア―b	イ―d	ウ―f

問２　生徒Ｚは，EU 加盟国の法定最低賃金に関する**資料３**を新たにみつけ，**資料１**，**資料２**も踏まえて，EU 域内における人の移動について推察した。このときの推察について述べた後の**ア**～**ウ**の記述のうち，**適当でないもの**はどれか。当てはまるものをすべて選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 28

資料３　EU 加盟国の法定最低月額賃金(単位：ユーロ)（2021 年下半期平均）

上位５か国	ルクセンブルク	アイルランド	オランダ	ベルギー	ドイツ
	2,202	1,724	1,701	1,626	1,585
下位５か国	ブルガリア	ルーマニア	ハンガリー	ラトビア	クロアチア
	332	467	476	500	567

（出所）　EU 統計局 Web ページにより作成。

ア　ラトビアは，EU 域内の他国に移り住んでいる人口の比率は高いが，居住人口増加率と最低賃金は EU 加盟国の中で下位にある。よって，EU に加盟したことで EU 域内での人の移動が大幅に自由化され，EU 域内の他国での就労などを目的とした移住が EU 加盟後に増加したと推察できる。

イ　ルクセンブルクは，EU 域内の他国に移り住んでいる人口の比率と居住人口増加率が高く，最低賃金は EU 加盟国の中で上位にある。よって，EU 域内の他国からの移住が増加する一方で，EU の原加盟国であることから経済統合が深化して EU 域内の他国への移住も増加したと推察できる。

ウ　ブルガリアは，EU 域内の他国に移り住んでいる人口の比率は高いが，居住人口増加率と最低賃金は EU 加盟国の中で下位にある。よって，EU 加盟により EU 域内での人の移動は大幅に自由化されたが，EU 域内の他国での就労などを目的とした移住は EU 加盟後に減少したと推察できる。

①　**ア**　　②　**イ**　　③　**ウ**
④　**ア**と**イ**　　⑤　**ア**と**ウ**　　⑥　**イ**と**ウ**　　⑦　**ア**と**イ**と**ウ**

問３　生徒Xは，調べ学習を進める中で，イギリスではポーランドなど東ヨーロッパ諸国から移民労働者を多く受け入れていたことを知った。他方で，Xは，先生Tが以前の授業で，EU 離脱の是非を問うたイギリス 2016 年国民投票で移民問題が関わっていたと，関連する世論調査データも使いつつ話していたことを思い出した。次の**資料４**は，その授業での配布資料である。**資料４**中の空欄 ア ・ イ に当てはまる記述として正しいものを，後の①～④のうちから，それぞれ一つ選べ。

ア に当てはまる記述　→　29
イ に当てはまる記述　→　30

資料４　イギリスのEU離脱の是非を問う国民投票の結果と世論調査にみる支持理由

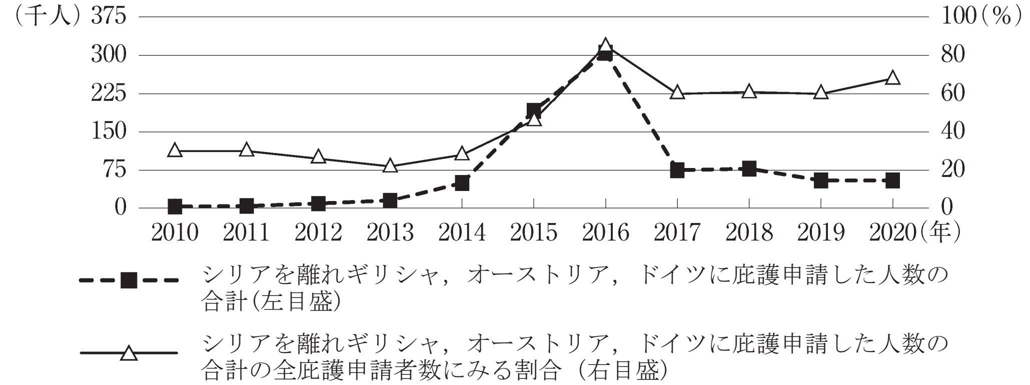
投票率 72%，残留に票が投じられた割合 48%，離脱に票が投じられた割合 52%		
残留支持理由	**１位**：	経済や雇用の面で離脱リスクが大きすぎる
	２位：	ア
	３位：	離脱すると孤立感が深まる
離脱支持理由	**１位**：	イ
	２位：	移民や国境の管理を自国に取り戻せる
	３位：	EU が決めた加盟国の拡大などに抗えない

（出所）　イギリス選挙委員会，アシュクロフト世論調査の各 Web ページにより作成。

① EU 市場へのアクセスは現状維持が最善である
② イギリスのことはイギリスが決めるのが当然である
③ 欧州自由貿易連合(EFTA)に留まる必要がある
④ ユーロから離脱し通貨主権を取り戻せる

問４　ヨーロッパの難民問題を調べていた生徒Yは，シリア難民が，ギリシャ，オーストリア，ドイツをめざしたという先生Tの説明を思い出した。そこで，シリアを離れこれら３か国に到着し保護を求めた「庇護(ひご)申請者」の合計の推移を調べ，次の**資料５**を作成した。後の**ア**～**ウ**の記述のうち，**資料５**から推察できる内容として適当なものはどれか。当てはまるものをすべて選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 31

資料５　シリアを離れギリシャ，オーストリア，ドイツに庇護申請をした人数の推移



（出所） UNHCR Webページにより作成。

ア　2011年から2013年にかけて庇護申請者数はわずかに増加した一方，ギリシャ，オーストリア，ドイツ３か国の割合は減少している。これは，「アラブの春」によりシリアで政権交代が実現したことが背景にあると推察できる。

イ　2015年，2016年ともギリシャ，オーストリア，ドイツ３か国への庇護申請者数が前年に比べ急増している。これは，内戦の激化によって国内を脱出した人々が，自国より政治的に安定した国をめざしたからであると推察できる。

ウ　2017年にギリシャ，オーストリア，ドイツへの庇護申請者数は前年に比べ減少している。これは，パグウォッシュ会議でシリア難民対応への国際的合意がなされたことが一因であると推察できる。

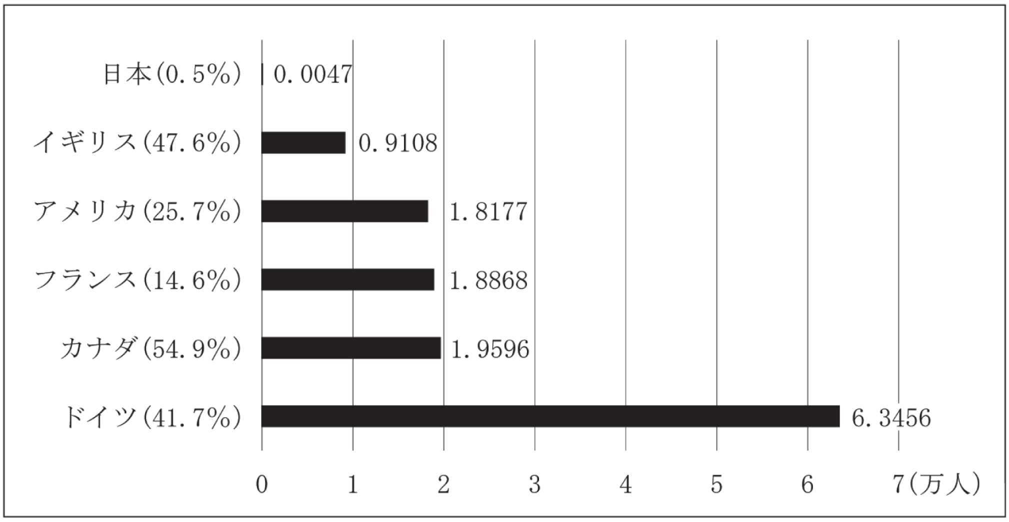
① **ア**　② **イ**　③ **ウ**　④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**　⑥ **イ**と**ウ**　⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

（下 書 き 用 紙）

公共，政治・経済の問題は次に続く。

問５　生徒Xと生徒Yは，主な先進国の難民認定率と難民認定者数を示す次の**資料６**をみつけ，その内容について話し合っている。後の**会話文**中の空欄［ア］には後の国名aかb，空欄［イ］には後の語句cかd，空欄［ウ］には後の記述eかfのいずれかが当てはまる。当てはまるものの組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［32］

資料６　主な先進国の難民認定率(％)と難民認定者数(万人)（2020年）



（出所）UNHCR Refugee Data Finderにより作成。

X：難民の認定者数はドイツが一番多いけど，認定率は［ア］が一番高いね。

Y：［ア］は［イ］の政策をとっていたね。それが関係しているのかもしれないね。

X：日本は難民の認定者数が少なく，認定率も0.5%とかなり低いね。

Y：そういえば，難民条約では，ノン・ルフールマンの原則により，難民認定の申請を受けた国は［ウ］と定められている，と授業で学習したよね。

X：その原則の申請者への適用の仕方は各国の事情によるんだろうね。この後，日本の難民受入れ政策や申請者への処遇などを調べてみようか。

ア に当てはまる国名

a　アメリカ

b　カナダ

イ に当てはまる語句

c　ユニラテラリズム

d　マルチカルチュラリズム

ウ に当てはまる記述

e　出身国での困窮を理由に入国した申請者を自国から送還してはならない

f　帰国後に迫害される恐れのある申請者を自国から送還してはならない

① ア―a　イ―c　ウ―e
② ア―b　イ―c　ウ―e
③ ア―a　イ―d　ウ―e
④ ア―b　イ―d　ウ―e
⑤ ア―a　イ―c　ウ―f
⑥ ア―b　イ―c　ウ―f
⑦ ア―a　イ―d　ウ―f
⑧ ア―b　イ―d　ウ―f

問６　これまでの学習の成果を踏まえて，生徒Ｚは，生徒Ｘ，生徒Ｙとともに，日本での移民・難民の期限を定めない受入れについて授業で討論した。この討論は異なる視点から３人が意見を出し合い，それぞれの意見を組み合わせて一つの政策的な含意をもつ提言を導くことがねらいであった。討論を通じて，まとめられたＸたちによる次の**ア**～**ウ**の提言を読み，後の**(1)**，**(2)**の問いに答えよ。

ア　日本への移民・難民の受入れを考える前に，現状の根本的な問題解決として，そもそも日本は移民・難民の発生する地域の安定や開発に貢献すべきであるだろうし，そうした支援を行う国際機関への資金援助も今以上に積極的に行うべきだ。

イ　経済の活力が失われる日本の将来を考慮するならば，移民・難民の受入れとは考えなければならない選択肢の一つだけれども，移住してくる人たちに日本の社会や歴史，文化を深く理解してもらう教育制度に加えて，在留資格や国籍取得の要件を厳格にすべきだ。

ウ　多様な人材を日本に受け入れることで，雇用する会社はそれらの人材を事業や取引に活かせるだろうから，日本は移住者の雇用をどのように促進できて，その人たちといかに接点を作れるか，受入れ後の制度について既に移住している人たちと一緒に考えるべきだ。

(1)　まず３人の生徒が導いた**ア**～**ウ**の提言のうちから任意に一つ選び，**ア**を選択する場合には①，**イ**を選択する場合には②，**ウ**を選択する場合には③のいずれかをマークせよ。なお，**(1)**で①～③のいずれを選んでも，**(2)**の問いについては，それぞれに対応する適当な選択肢がある。 33

(2)　**(1)**で選択した提言は，討論を踏まえ意見をまとめていく中で，２人の生徒の意見を調整して組み合わせたものである。どの２人の意見を組み合わせた提言だと考えられるか。次の**ａ**～**ｃ**の意見のうちから適当なものを二つ選び，その組合せとして最も適当なものを，後の①～③のうちから一つ選べ。
34

a　【生徒Xの意見】

今の日本は移民なしに少子高齢化社会を支えられないだろうし，移民労働者によって日本経済も活性化すると思うな。難民についても，欧米諸国との受入れの国際比較に関する**資料６**にあったように，日本は他の国と比べて受入れ数が少ないんだし，積極的に受け入れることでもっと国際社会に貢献しても良いと思う。日本国憲法にもあるように，人権はすべての人に保障されているもので，誰かが困っているんだったら答えは受入れ以外ないと思う。

b　【生徒Yの意見】

移住してくる人たちが日本で働き口をみつけ，家族を呼び寄せて，ある地域に移民が急に増えると，生活習慣や文化の違いでその地域の住民と摩擦が起こりそうだな。**資料４**のEU離脱支持理由にもあったけど，移民を手放しで受け入れた後では遅くて，受入れ前に対策を講じるのが一番大切だと思う。難民も多く発生しているアフガニスタンやシリアは言葉や宗教の面で日本と違うだろうから，暮らしにくいと思うよ。

c　【生徒Zの意見】

資料２で人口減少が顕著だった東ヨーロッパの国をみて思ったんだけど，移民・難民として出ていかれたら，その国の将来を担う人材も減りそう。それに他国の就労先で低賃金・重労働の仕事を押し付けられるのも心配だ。私たちが互いの意見を尊重するのと同様に，いろんな言語や宗教の人たちの考え方や意思を尊重してあげたいな。ただ実際に多くの人が国境を越えて移動している中，国が移住を希望する人を制限したり妨げたりすることは避けるべきことだと思う。

①　aとb　　②　aとc　　③　bとc

第６講　2025年度 試作問題 第６問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号(配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第６問 (20)	1	27	6	3
	2	28	3	3
	3	29	1	3＊1
		30	2	
	4	31	2	3
	5	32	8	4
	6	33	1 又は 2 又は 3	なし
		34	解答番号 33 が 1 の場合は 3 解答番号 33 が 2 の場合は 1 解答番号 33 が 3 の場合は 2	4＊2

（注）　＊1 は，両方正解の場合のみ点を与える。
＊2 は，解答番号 33 で 1 を解答した場合は 3 を，2 を解答した場合は 1 を，3 を解答した場合は 2 を正解とし，点を与える。